

# ユトリエニュース

記念日カレンダー

これ知ってる?

めちゃ旨レシピ

季節の話題

感謝の気持ち

最近の太田建設

2025年1月・第158号



## 記念日カレンダー

## 謹賀新年

2025年が、皆さまにとって健やかな一年となりますよう、  
心よりお祈り申し上げます。  
本年もよろしくお願ひ申し上げます。



きのとみ  
2025年乙巳（へび年）。へびは、「金運の象徴」、「生命力や再生の象徴」と考えられています。

金運は、インドでは白蛇が金運をつかさどる弁財天の化身とされていること、「巳」と同じ「み」と読む「実」から、「実入り」＝「収入がある」にちなみます。

生命力は、へびが脱皮を繰り返すことから、運気を上げる縁起物と考えられているためです。

12日に一度おとずれる「巳の日」（2025年は1月12日、24日、2月5日、と続く）、その中でも特に金運が良いとされる60日に一度の「己巳つちのとみの日」には、金運アップを願う人々が、神社を参拝するそうです。

今年は、日本全体が活力と元気みなぎるような、経済力アップ、国力アップにつながるような一年に

ほうろう  
珧瑯

これ知ってる?



「珧瑯」は金属（鋼板・鋳物）の表面にガラスを被覆\*したもので、金属の持つ強度と加工性、ガラスの持つ耐食性、耐薬品性、耐摩耗性、意匠性などを兼ね備えた複合素材です。キッチンの保存容器や鍋、お風呂の浴槽、トイレなどが身近ですが、化学・医療分野の容器、衛生陶器、建材のほか、様々な分野で使われています。

身近な珧瑯鍋や珧瑯の保存容器などは、耐久性などのほか、食材に臭いを移さず且つ食材の臭いも珧瑯に残りにくい、熱伝導がよい、酸やアルカリに強い、密閉性が高く熱が逃げにくい、焦げつきにくい、中まで火が通りやすい、洗いやすい、といった点で魅力的です。ジャムなどの酸の強いものや、シチューなど長時間煮込むものにむいています。

基は鉄素材のため重いという印象がありますが、鋼板珧瑯の元となる金属には、鋼板（板状の鋼）、鋳物（型に鉄を流し込んだ鋳鉄）があり、前者は軽量です（ただし、熱伝導、保温性、焦げ付きの点で、鋳物の珧瑯より劣る）。

因みに、珧瑯の焦げ付きは、水と重曹を鍋に入れ沸騰させた後2時間程度放置すると取れやすくなるそうです。

\*表面を覆い保護すること。

Panasonic Builders Group | パナソニックビルダーズグループ

# ユトリエホーム

（太田建設株式会社 テクノ事業部）

ユトリエホーム

検索

www.yutoriehome.jp

フリーダイヤル 0120-318-093

メール: techno@yutoriehome.jp

[本社] 〒277-0861 柏市高田1313-4 TEL.04-7143-0506 FAX.04-7144-3345

太田建設はZEHビルダーです。



ZEH29B-00279-CTR

千葉県誕生  
150周年



チーバくん

おかげさまで50周年

めっちゃ旨レシピ

白菜の漬物が余ったら  
～ 白菜漬けのお鍋～



キムチ鍋のキムチを白菜漬に変えたもの。漬物の酸味と豚肉の甘みがやみつきに！



《材料》 4人分

A	白菜の漬物	・・・白菜1/4個分
	白菜	・・・1/4個分
	豚バラ肉	・・・400g
	春雨	・・・100g
B	豆腐	・・・半丁
	酒	・・・300ml
	鶏ガラスープ	・・・500ml
	生姜	・・・スライス3枚
	塩	・・・1つまみ
C	胡椒	・・・適量
	長ネギ	・・・1本
	柚子	・・・1個
	豆板醤	・・・大さじ2
	すりゴマ（白）	・・・大さじ3
	砂糖	・・・大さじ1
	醤油	・・・大さじ1
黒酢（または酢）	・・・大さじ2	

1. Aの材料

- 白菜の漬物 : 5cm程度にざく切り
- 白菜 : 5cm程度にざく切り
- 豚バラ肉 : 好みの大きさに切る（大きめがおススメ）
- 春雨 : 乾麺のまま、食べやすいサイズに切る
- 豆腐 : 1cmの厚さに切る

2. Bの材料

鍋にBの材料を全て入れ、ひと煮たちしたら、Aの具材を入れて煮る。

3. Cの材料

- 長ネギ : みじん切り
  - 柚子 : 皮（1/2個分）をみじん切り  
果実は果汁を絞る。
- Cの材料全てを混ぜ、食べる時の漬けダレにする。

4. 鍋の具材が十分に煮えたら、つけダレで召し上がり！  
 丼には、丼に白米（材料外）、または素麺（材料外）を入れ、鍋に残った出汁（再度火にかけて沸騰させて）をよそう。つけダレで味を調整しましょう。

季節の話題

旬の話題 ～ 「年賀状じまい」～



2025年の年賀状の発行部数は10億7,000万枚。2024年から25%減で前年比の減少率が最も高かったようだ。1949年の発売開始から増え続け、2003年の44億5,936万枚をピークに減少し続けている。替わって、LINEなどSNSやSMS、メールなどで挨拶をする人が増えている。「年賀状じまい」という言葉も急速に定着しました。ビジネス・プライベート問わず、年賀状じまいの定型の言いまわしがネットにも沢山掲載されています。

デジタル化の波、伝統や形式にとらわれない風潮のほか、忙しい日々、年末年始ぐらい休みたい！などの、個人個人の考え方もあるでしょう。さらに、2024年10月に郵便料金が63円から85円に大幅に値上げしたことが、一気にその流れを加速させたのではないのでしょうか。

一方で、年賀状を楽しみにしている方、デジタルを利用しない、苦手としている方で、やはり年賀状がいい！という方もいらっしゃいます。

お節も、昔の冷蔵技術が発達する前の伝統で、冷蔵技術が発達した今はお節は不要、といった考え方もあるようです。時代の流れと伝統の狭間で揺れ動く、、、悩ましい時代です。

感謝の気持ち

おかげさまで50周年

2025年2月に、太田建設は創業50周年を迎えます。これも一重に、お客さま皆さまのご愛顧と、各協力会社の力添えがあったのものと、心より感謝申し上げます。  
50年と一言でいっても、おぎゃあと生まれた赤ちゃんが50歳になったのと同じと考えると、月日の重みを感じます。  
会社概要を2025年1月に新しく作成しました。そのなかに記載のある当社のあゆみをここに転記させていただきます。

太田建設50年のあゆみ ~沿革~

- |          |   |
|----------|---|
| 昭和50年 2月 | 柏市松ヶ崎で太田建築として創業開始   |
| 昭和50年10月 | 柏市沼南町に工場建築  |
| 昭和54年 3月 | 柏市高田に事務所兼工場を建築  |
| 昭和54年 7月 | 柏市高田（現在地）に太田建設株式会社設立（資本金300万円）<br>創業者太田次男が代表取締役就任                       |
| 昭和54年12月 | 不動産部を新設、土地付建物販売開始   |
| 昭和57年 9月 | 沼南町工場を柏市十余二に移転  |
| 昭和60年 3月 | 十余二工場を建替え   |
| 昭和62年 5月 | リフォーム部門としてOKホームを創立<br>既存のお客様のアフターフォローを強化                                |
| 平成 4年 5月 | 柏市正連寺に第2工場新設  |
| 平成 5年 1月 | 本社新社屋完成   |
| 平成 5年 4月 | 本社2階ショールームオープン  |
| 平成 5年 6月 | 資本金を1,000万円に増資  |
| 平成 8年 6月 | ハイブリッドソーラーハウス 「チリウヒーター」 取扱い開始   |
| 平成11年 8月 | グループ会社（株）ユトリエホーム設立<br>（イザットハウス柏店）外断熱工法の営業開始                             |
| 平成11年12月 | 野田市上三ヶ尾に工場新築正蓮寺第2工場から移転<br>太田建設オリジナル外断熱(HBS)工法の営業開始                     |
| 平成12年 2月 | 本社2階にイザットハウス柏店のショッブ新設   |
| 平成13年 5月 | ホームページ開設  |
| 平成18年 1月 | 資本金を2,000万円に増資<br>一般建設業から特定建設業に変更                                       |
| 平成22年 1月 | パナソニック「テクノストラクチャー」施工認定店に加盟<br>テクノ事業部新設／「ユトリエホーム」としてサービス開始<br>モデルハウスオープン |
| 平成29年 6月 | ゼッチ=ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス<br>(ZEH)ビルダー登録                                     |
| 平成29年10月 | モデルルームオープン  |
| 平成30年 7月 | 太田次男が取締役会長に就任<br>太田享が代表取締役社長就任  |
| 令和 4年 6月 | 令和4年度柏市優良建設工事表彰   |
| 令和 6年 6月 | 令和6年度柏市優良建設工事表彰   |



おかげさまで50周年

最近の太田建設

太田建設の動向、施工現場の状況などを紹介します。

Pick Up!

外壁塗装

～ 木材のもちをよくする保護塗装 ～

柏市の保育園の外壁塗装を行いました。この保育園は、写真のとおり、建物の外側のほぼ全面に木材が使用されていて、見た目にも風合いがあり、自然素材という安心感があります。

その反面、木材は雨風にさらされると朽ちていくため、今回は、高圧洗浄をしたあと、浸透性の木材保護塗料で塗装しました。

浸透性の木材保護塗料は、木材に浸透して保護するため、木材内部から撥水、防腐、防カビなどの保護機能を発揮できる、木材の伸縮にも対応できる、木材のもつ風合いを保つことのできる、という特性があります。

2014年に新築した当社のお客様で、外構や玄関に木材を使用しているお住まいがありますが、定期的にメンテナンスをして、10年以上経った今でも、綺麗な状態を維持なさっています。

おススメは2、3年に1度ですが、そこまでマメには、、、というお客様も、状況確認だけでもしていただくことをおススメします。木材が朽ちすぎてしまうと、塗装では難しく、貼り直し、造り直しとなります。そうなる前に、ご相談ください。



2025年を迎え、謹んで新年のお喜びを申し上げます。  
皆さまのご健康と幸せを心よりお祈り申し上げます。



代表取締役社長  
太田 亨

記事にも書かせていただきましたように、今年2月で、当社は50周年を迎えます。会長の太田次男が、柏の地に「太田建築」として創業し、現在の太田建設まで何とか操業しております。これまでの皆さまのご支援に、改めまして御礼申し上げます。質の高い、よいサービスをご提供することが、当社の使命と皆さまへの感謝の気持ちをお伝えする方法かと考えます。

初心に戻って、気を引き締めて励む所存です。今後も変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

ご用がなくても、お近くに来られましたら、どうぞ顔を見せにお気軽にお立ち寄りいただけますと嬉しいです。